

2003  
月刊 田中けん Vol.5

11月10日発行  
田中けんを応援する会後援会会報

弁護士による  
無料法律相談を受付中

ご連絡は裏面に掲載している田中けん事務所まで。



江戸川区議会議員  
田中 けん

月刊 Monthly of News  
Tanaka Ken

# 田中けん



Highway  
problem

## だからこそ、 高速道路を考える



山崎養世氏との対談(右から二人目が山崎氏)

山崎養世  
日本列島  
快走論

衆議院選挙が終わりました。高速道路のあり方が争点となった選挙でした。やっと世間は高速道路に注目したのです。今はまず「高速道路が大問題である」という従来からの私の主張と世間の認識が重なりはじめました。

◀「日本列島快走論」(NHK出版)  
山崎養世著

## 高速道路との関わり

1985年頃から、私はこの問題と関わってきました。当時の私はまだ、未成年でした。当時は、二輪車も普通自動車も通行料金が同じでした。ですから、私はライダーの立場から、「高すぎる通行料金を返せ」という民事裁判に、原告として参加しました。裁判の途中で、日本道路公団は、二輪車の通行料金を普通自動車よりも20%減額させました。原告団の主張は半額返還でしたが、これを事実上の勝訴と受け止め、すぐに裁判を取り下げました。その後、この運動は無くなってしまいましたが、高速道路の料金値上げは続きました。1987年からは四輪車も含めて、首都高速道路における通行料金値上げ分の「100円不払い運動」が始まりました。1989年には、消費税導入に伴う、阪神高速道路の通行料金便乗値上げに、大阪まで行って抗議しました。この運動は、2001年から全額不払い運動へと変化して、今でも続いています。

1995年に当選してからは、私がこの問題に取り組む機会は減りました。復活したのは、2001年の都議選に立候補したときです。このときに私は「高速道路を無料にする」というスローガンを掲げました。私の名刺をご覧いただければ、高速道路の無料化に、私がどれだけ情熱を傾けているかが、ご理解いただけるはずです。

高速道路を無料にする

江戸川区議会議員

田中 けん  
TANAKA Ken



※図1

しかし、「無料化」は多くの有権者から理解されることなく、結局私は都議選に落選してしまいました。  
→2ページ目に続く

## 2003年の衆院選挙において

あれから2年が経ちました。道路四公団あわせて40兆円という借金があるにも関わらず、天下り官僚出身の道路公団幹部は、2000万円を超える年収と多額の退職金を受け取っています。退職後は、再びファミリー企業と呼ばれる子会社へと天下りをして、わずかな年数で億単位の金銭を彼らは、今でも受け取っています。官僚の官僚による官僚のための政治とは、国民の財産や税金が、食い物にされてきた構造汚職の歴史そのものなのです。

高速道路の利用者のみならず、官僚天国に不満を感じている有権者が多いからこそ、官僚利権と戦う小泉首相は支持されてきました。小泉改革が、特殊法人改革の目玉として、真っ先に道路公団を

取り上げたことは必然だったのです。今までの高速道路問題には「改革派(民営化) vs 守旧派(道路族)」という対立軸がありました。それも小泉総裁が再選されたことで、改革派が勝って決着がついたのです。

ここまで来て、やっと議論が次の段階に移るのです。同じ改革派の中にも、民営化に対する疑問がありました。「無料化」という新しい提案は、そうして産まれてきました。小泉首相と戦う必要性から、民主党がマニフェストの中で、「高速道路の無料化」を取り上げたこともまた必然だったと言えます。私たち有権者が「無料化 vs 民営化」という新しい対立軸によって、高速道路問題を語る時期が今なのです。

## 山崎養世氏との出会い

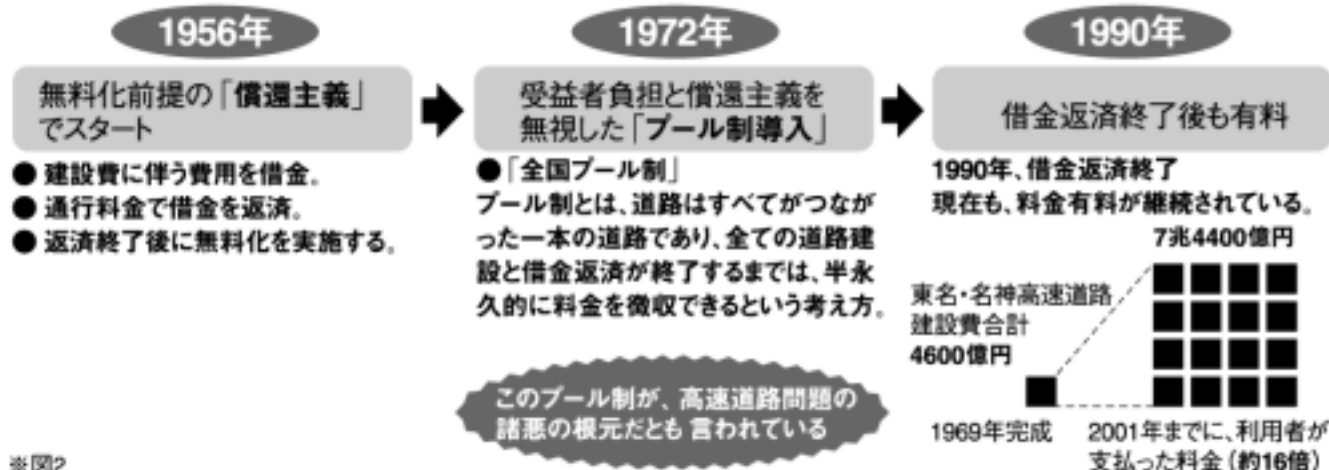
TBSテレビに「筑紫哲也のNEWS23」というテレビ番組があります。2003年10月21日(火)の放送では、民営化論者の猪瀬直樹氏と無料化論者の山崎養世(やまざき やすよ)氏が討論を行いました。実はその2時間前まで、私は山崎氏本人と会って打ち合わせをしていました。氏は民主党のマニフェストに影響力を与えたと言われる人物です。詳しくは「日本列島快走論(NHK出版)」(表紙参照)と山崎氏のホームページ(<http://www.yamazaki-online.jp/>)をご覧ください。

ここでは、氏が説く「無料化」について簡単に紹

介します。

まず東名・名神高速道路は、既に建設費分の支払いが終わっています。(図2)それでも、東名・名神高速道路は有料のままです。全国の高速道路は全て一つの道路として考える「全国プール制」という考え方があります。詭弁とも言えるこのトリックが、東名・名神高速道路の黒字を、他の赤字高速道路の穴埋めに使うことを正当化したのです。「全国プール制」こそが、高速道路を無料にはならない道路へと変えてしまったのです。

### 高速道路はいつか無料にするという約束で作られた (東名・名神高速道路の建設費と料金制度)



## 借金の返済策は？

道路四公団の借金は40兆円もあります。無料化にして、この借金をどのように返すのか。これこそ、読者の素朴な疑問となるでしょう。山崎案では、この問題の解決策を以下のように提案しています。

- ☆道路四公団の借入れを国が肩代わりして返済し、無料化を実現する。
- ☆国が低金利で資金調達することで、道路四公団の借入れに比べて国民負担が大幅に減る。
- ☆道路四公団の事業は、廃止及び大幅削減する。
- ☆現在の道路財源で、一般道路だけでなく高速道路の新線建設・保守をまかなう。

一時、銀行や大企業の借金を国が肩代わりして、世間からの批判を受けました。道路公団の借金を国が肩代わりすることへの批判も、同じような発想からなのでしょう。

それに今でも日本には800兆円を超える借金があります。更に、40兆円の国債発行には、単純に抵抗を感じる人もいます。

山崎案は、道路四公団が抱える40兆円の借金を、「隠れ借金」のままにするのではなく、国の借金として、明らかにすることから対策を考えます。40兆円の借金をしても、道路公団が抱える40兆円の借金が減

るのだから、プラスマイナスゼロなのです。通行料金による私たちの支払いは、そのほとんどが金利であり、金利を低く抑えることが、全体の負担を減らすのだと説きます。過去5年間だけでも、国の借金は275兆円も増加しています。それに比べれば、40兆円という金額は、それ以上の金額ではありません。

高速道路は国民生活に必要不可欠な社会資本です。民間企業と同じ発想で、道路公団を倒産させ、高速道路などの資産を売却して借金の返済にあてるなど、到底できません。

一般道路と高速道路を合わせた年間予算は12兆円です。(図3)もし高速道路の借金返済にかかった国債の償還費用として、年間2兆円ほど割り当てられれば、30年で全部返済できる計算になります。

それに、もし高速道路が無料化されたならば、日本経済はもっと活性化します。民営化では、このような効果が期待できません。無料化によって、日本全国での移動が楽になります。海外ではなく、国内旅行をする人も増えるでしょう。都心だけでなく、地方もまた活性化するのです。無料化論をもっと高く評価すべき根拠はこれなのです。

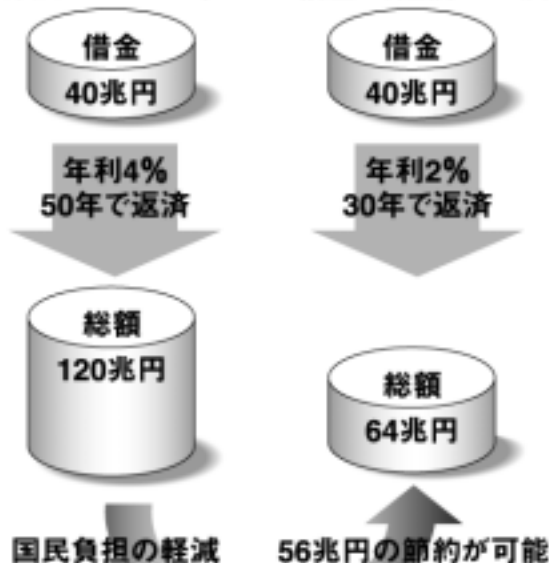
今まで、私が説明しきれなかった無料化への道筋を、山崎養世氏は明快に語ってくれました。氏との対談を通じて、自分の信念が間違っていなかったと、私は確信できました。私も同じ無料化論者として、これからも政治活動を続けてゆきます。

### 田中けんがパネリストとして登場します。

#### 関東自治体学フォーラム in ちば2003

- 日時 平成15年11月15日(土)  
11:30 受付開始
- 会場 ▼フォーラム  
富士通幕張システムラボラトリ  
▼情報交換会  
幕張プリンスホテル ビアンカ
- 参加費 フォーラム 2,000円  
情報交換会 5,000円
- 問い合わせ先 安部浩成 TEL043-245-2786  
hiro-abe@mub.biglobe.ne.jp

#### ▼ 現行の借金返済方法のままいくと ▼ 国の信用で国債として借金し、返済した場合



# 年忘れ カラオケ大会

ぜひ皆様でご参加ください。

■日時 **12/6 (土)**

開始:午前11時30分 終了:午後6時まで

■場所 **カラオケの鉄人 新小岩店 317号室**  
東京都葛飾区新小岩1-48-11  
TEL:03-5661-2323

■参加費 **1,500円** ソフトドリンク飲み放題  
アルコール・お食事については  
各自別会計とさせていただきます。

■主催 **田中けんを応援する会**

(連絡先) TEL:03-5662-7755 e-mail:gen@big.jp または info@t-ken.jp

■備考 当日、室内は禁煙とさせていただきます。ご協力お願いいたします。

※ご参加希望の方は、12/4(木)までにご連絡お願いいたします。

ご予約なしでの当日参加をご希望の場合、こちら(Tel:03-5662-7755)までご相談ください。



平和橋通りを新小岩に向け、左手のローソンを越えて直ぐ、極東証券の角を左折し200m位行きます。(駅手前1本目)左に大洋食品の看板が見えたら、次の角を右折し、つきあたりを右折します。左手にピリヤード跡地がありますので、その向かいが日の丸駐車場です。(カラオケの鉄人へのご入店の際は駐車券をご提示ください)



**高速道路無料化計画!**

江戸川区議会議員

**田中 けん**

【プロフィール】

1966年1月6日 江戸川区生まれ

第三松江小学校 卒業

松江第三中学校 卒業

都立藤田川高校 卒業

千葉大学教育学部卒業

1995年4月 江戸川区議会議員初当選(2,789票)

1999年4月 江戸川区議会議員再選(4,282票)

2001年6月 都議会議員選挙惜敗(12,394票)

2003年4月 江戸川区議会議員選挙当選(4,103票)

現在ホームヘルパー、江戸川トライアスロン連合会長

一人の会 幹事長



**【田中けんを応援する会事務局】**

自宅事務所 〒132-0021 江戸川区中央4-25-14

TEL/FAX:03(5662)7755

e-mail gen@big.jp または info@t-ken.jp

**http://www.t-ken.jp**

Ken Tanaka